

従業員とともに成長し続けるために

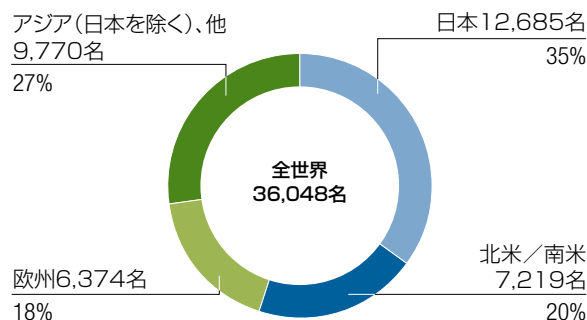
従業員一人ひとりが主体性を持って活躍できるとともに、健康に生き活きと働ける環境づくりを進めています。

多様な人材が活躍できる環境づくり

コニカミノルタは、全世界の従業員の雇用と処遇について、“機会均等”と“多様性の尊重”を重視し、人種、国籍、宗教、性別による差別を排除しています。さらに、そうした多様な人材が、個々の能力を最大限に発揮し、主体的に挑戦していける職場環境づくりと、“グローバルに活躍できる人材”の育成を推進しています。同時に、従業員が健康に生き活きと働けるよう、職場の安全衛生の向上やワーク・ライフ・バランス*の実現のための、さまざまな施策を実施しています。

* ワーク・ライフ・バランス：一人ひとりが充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

従業員の地域別構成比



(2010年3月末日現在)

従業員の活躍を促す施策体系

テーマ	施策		
	2008年度	2009年度	2010年度
企業風土改革の推進	行動スローガン“simply BOLD”の展開 (▶P32) 2008 共有と浸透 → 2009 理解と実践		
人材の育成および活用	従業員が主体的にチャレンジできる人事制度の構築 2009 人材公募制度の導入 (▶P33) 2010 FA制度の導入 (▶P33)		
	グローバル人材の育成・活用 2008 人材交流 → 2009 グローバルデータベースの構築開始		
ダイバーシティ(多様性)の推進	仕事と家庭の両立支援制度の拡充 2008 在宅勤務制度の試行 → 2009 在宅勤務制度の導入 (▶P33)		
安全で働きやすい職場づくり	就業時災害の撲滅を目指す取り組み 2008 特定災害への集中対策 → 2009 重点拠点への集中対策 (▶P34) 2010 設備の本質安全化対策		

行動スローガン“simply BOLD”のもと、 企業風土改革を推進

企業が発展していくためには、従業員一人ひとりが高い意欲と主体性を持って、活躍していくことが不可欠です。その基盤となる企業風土をグループ全体で生み出していくために、全世界統一の行動スローガン“simply BOLD”のもと、意識改革に取り組んでいます。

グローバルで共有する行動スローガンを策定

コニカミノルタは、「過去の成功体験や慣習にとらわれずに、常に変革し続ける人材を尊重すること」を人事理念としています。従業員一人ひとりが、その人事理念をグローバルで共有し、実践するために、2008年4月、全世界統一の行動スローガンとして、“simply BOLD(大胆な発想と勇気あ

る挑戦)”を策定しました。このスローガンのもと、すべての従業員が仕事において実現したい将来像や目標に向かって、主体的に革新的な行動を取っていくことを目指しています。



「simply BOLD」のロゴマーク

スローガンを浸透、定着させる取り組みを展開

2008年10月、従業員一人ひとりが自分の目指す行動を宣言する「私のsimply BOLD宣言キャンペーン」を実施し、5カ月間で世界各国から16,000件を超える宣言が集まりました。その中から選ばれた120の宣言を「革新への想い」という小冊子にまとめ、2009年夏に日本語、英語、中国語で発行するとともに、一部をドイツ語、フランス語、スペイン語でイントラネットに掲載して、グループ全体で共有

を図りました。

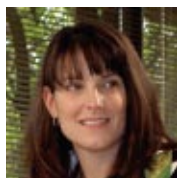
その他にも、グループ報やイントラネットを通じてさまざまなコミュニケーションを行い、全世界の従業員への浸透を図っています。



小冊子「革新への想い」

VOICE

Simply BOLDは、単に言葉にするだけでなく、実践を伴わなければ意味がありません。私にとって、それは、自分自身や周りのみなさんが安心して新しいことに挑戦できる環境をつくることです。



コニカミノルタビジネスソリューションズUSA社
人材育成担当
Denise Brown

勇気と、これまでになかった発想をもち、新しい行動に思い切って取り組んでみます。



コニカミノルタビジネステクノロジーズ(無錫)社
技術部
张 纳敏

自分の実力以上のところにあえて出て行って、ベストを尽くして恥をかいてみます。それを繰り返すうちに、自分の実力はもう一段も二段も上昇するはずなので。



コニカミノルタオプト(株)
技術開発本部 NC事業準備室
原 明子

手に入れるための十分な勇気がありさえすれば、想像するすべてのものを創り出すことができます。



コニカミノルタビジネスソリューションズドイツ社
オフィス機器商品管理担当
Helge Dolgener

活動ハイライト 2 人材の育成および活用

従業員の意志をより反映できる新制度を導入

コニカミノルタはこれまで、従業員一人ひとりの育成計画と、事業計画の双方を考慮した、会社主導の人材配置を基本としてきました。その従来の制度を補完するものとして、従業員の能力発揮の機会を拡大するために、自らの意志で異動にチャレンジできる仕組みを導入しました。

2009年11月、会社から求める人材の要件、職種を提示して、従業員自らの意志で応募する、求人型の「人材公募制度」※を導入しました。2009年度には新規事業に関わる2部門で募集を行い、多数の応募が寄せられた結果、計7名が異動しました。2010年5月には、従業員自身がチャレンジしたい職務や職場を提示する、求職型の「FA（フリーエージェント）制度」※を導入しました。これらの制度を通じて、グループ横断的な人材の流動化を図るとともに、自律的なキャリア開発を支援し、新しいことに積極的にチャレンジする組織風土を醸成していきます。

※ 募集対象：日本の持株会社、事業会社、共通機能会社および特定事業会社の正規従業員。

VOICE

必要を感じていた役割を自ら果たすチャンスと
考えて応募しました。

コニカミノルタオプト(株)で新事業の検討に携わる中で、グループ内の多様なリソースを融合させることの必要性を強く感じていました。そんな時、グループ全体の事業戦略を立案する部門の人材公募を見て、自分が必要だと思っていた役割を自ら果たせるチャンスだと考えて、応募を決めました。事業会社での経験や視点を活かして、未来のコニカミノルタを創るためのコラボレーション推進の一翼を担っていききたいと思います。



コニカミノルタホールディングス(株)
経営戦略部
岡崎 直子

活動ハイライト 3 ダイバーシティ(多様性)の推進

ワーク・ライフ・バランスを実現するための 制度を拡充

コニカミノルタは、従業員が職場において自身のもつ能力を最大限に発揮する一方、家庭生活や地域活動、自己啓発などにおいても豊かなライフスタイルを実現できることを目指して、仕事と生活の両立(ワーク・ライフ・バランス)を

支援する制度の充実を図っています。2009年度には、育児期間中に自宅においても業務の遂行を可能とする「在宅勤務制度」を本格導入しました。また、育児短時間勤務制度の利用を、子どもの小学校3年生終了時まで延長しています。

主な両立支援制度の利用状況(2009年度)

	妊娠期／出産・産後期		育児期			その他		
	女性	男性		女性	男性		女性	男性
母性健康管理休暇	14名		育児休職	78名	4名	介護休職	2名	3名
出産休暇	43名		育児短時間勤務	151名	0名	介護短時間勤務	2名	0名
配偶者出産休暇		150名	育児在宅勤務	17名	4名	ボランティア休暇	0名	0名

※ 対象：日本の持株会社、事業会社、共通機能会社および特定事業会社の正規従業員

心身ともに健全に働ける環境を整備

コニカミノルタは、職場の安全と従業員の健康への配慮を基本として、安全衛生水準の継続的な向上を図るべく、さまざまな施策を実施しています。

就業時災害の撲滅を目指して重点拠点を設定

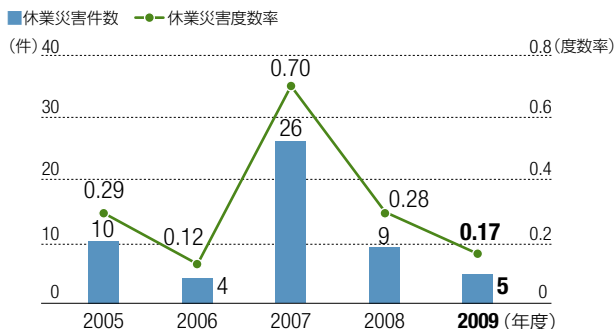
就業時災害を未然に防止するために、2009年度は「重点拠点」を設定し、集中的な対策を実施しました。

まず、「安全衛生アチーブメントプログラム[※]」による評価結果をもとに、日本国内の生産拠点および販売会社を各1件選定しました。生産拠点では徹底したリスクアセスメントにより121件の重大リスクを抽出し、年度末までにすべての対策を完了しています。販売会社では交通事故対策に注力し、外部のコンサルティングを受けて事故報告書を原因分析しやすいフォーマットに改良したほか、安全教育を強化しました。

2010年度からは、従来からの危険予知(KY)活動や意識向上活動に加えて、生産設備において事故が発生する根本的な原因を究明し、その撲滅を図る「設備の本質安全化」に重点的に取り組んでいきます。

[※] 安全衛生アチーブメントプログラム：チェックリストを用いて安全衛生活動を点数化し、自発的な改善を図る、コニカミノルタが独自に開発した仕組み。

休業災害件数、度数率



[※] 集計範囲：日本の持株会社、事業会社、共通機能会社および関係会社の正規従業員と派遣社員

[※] 度数率：100万のべ実労働時間あたりの労働災害による死傷者数

過重労働を防ぐため労働時間管理を徹底

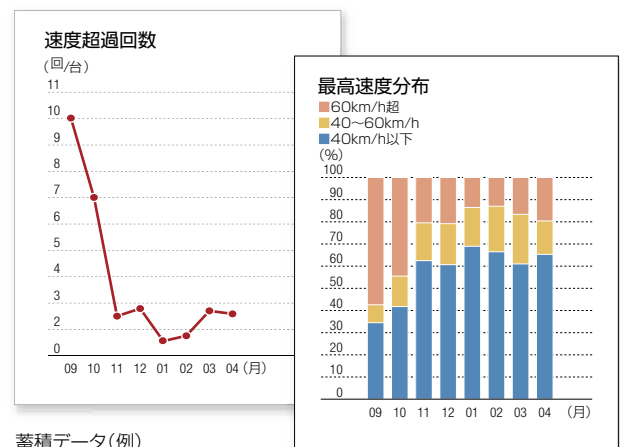
コニカミノルタは、過重労働による健康障害の防止に取り組んでいます。日本国内のグループ会社において、月の超過勤務時間が80時間を超える従業員全員に健康診断を実施するとともに、過重労働抑制のための労働時間管理を徹底しています。

Column

安全運転とエコドライブ促進のため、車両運行管理システムを導入

日本の情報機器販売会社であるコニカミノルタビジネスソリューションズ(株)は、2009年度から社有車への車両運行管理システムの導入を進めています。

このシステムは、急加速、急減速時の速度や運転時間、燃費などの情報を常時収集して、データとして蓄積することができます。また、運転中に設定値を超えた速度での走行、急加速、急減速などを行うと、社内の管理者宛てにメッセージが自動送信される機能も備えています。管理者が運転者の危険挙動を把握することで、事故を起こす前の個別指導が可能です。さらに、燃費や長時間アイドリングの状況をチェックすることで、燃料消費をできるだけ抑えるエコドライブの促進にもつながっています。



蓄積データ(例)